

北川支所管内より



いつも一緒だよ♪

左：ピンクちゃん
右：チョコちゃん(8)
飼い主：岡田慶子さん

お庭で日向ぼっこをしているインコのピンクちゃんとトイプードルのチョコちゃん。夜は別々の場所で眠りますが、昼間はいつも一緒に過ごしています。やんちゃで元気なチョコちゃんがいくら吠えても、無反応のピンクちゃん。時折、チョコちゃんが覗き込んでお互い見つめ合っているように見える姿が愛らしいです。

ピンクちゃんは、赤い目が特徴。ピンク、黄、白の毛色のグラデーションがとっても綺麗です。チョコちゃんは、とにかく人が大好き！遊びに来てくれると尻尾を振って喜び、帰ろうとすると吠えて怒ります。「犬を飼うのはチョコが最後かな」と慶子さん。暮らしにはいつも犬と一緒にだったので、チョコとの時間を存分に楽しんでいます。

かわいいおとうとをギュッ♡

小松結桜ちゃん(6)
葵ちゃん(5)
壱くん(1)

ギュッと抱き合っ、仲良しの3人姉弟。結桜ちゃんと葵ちゃんは、弟の壱くんをとっても可愛がっています。特に葵ちゃんは面倒見が良くて、よく一緒に遊んでいます。壱くんも、そんな2人のお姉ちゃんが大好き！2人に揉みくちゃにされても、コケてもへっちゃらです。

保育園が休みの日は、父・弘明さんと母・菜穂さんのナスのハウスにやってきます。おやつを食べたり、ジュースを飲んだり、3人で遊んでいます。結桜ちゃんと葵ちゃんは、最近ナスやピーマンが食べられるようになりました。お野菜いっぱい食べて大きくなってね！

あき東支所管内より



安芸
地区

から こんいちほ 今月の○○ 気になる人

赤野出張所管内より



おもむくままに、自由に、描いて

横田 幸子さん(76)

「ナス栽培もようやく終わった6月、来る日も来る日も雨が降り続けた日々の心情を描いた」と話してくれた幸子さん。作品は、国際現代美術家協会主催のi.m.a.展で文部科学大臣賞を受賞した「梅雨」です。赤野の上からの風景を描いた「朝やけ」「夕やけ」は、ベルギーやカナダの展覧会にも出品するなど、国内外で活躍しています。

安芸高校の美術部に入学した幸さんは、卒業後に当時神奈川県展会長を務めていた洋画家松田ヨシオ先生に師事。「絵はアトリエで描くだけでなく、電車の中や珈琲を飲んでいるあいだも描くもの。短編小説が書けるくらい深みのある絵を描きなさい」と先生から教わった言葉を今も大切にしています。絵は筆ではなく、ローラーやナイフを使って一気に描き上げます。おもむくままに、自由に、幸さんはこれからも好きな絵を描き続けます。



朝やけ

夕やけ

東洋支所管内より



地域でお金を稼ぐ仕組みを作りたい

山下 龍造さん(46)

建設業や飲食業、農業、宿泊業を展開する地元密着型企業、株式会社山下組の代表取締役を務める龍造さん。2015年には地元産の鮮魚や野菜を使用した飲食店「旬鮮魚菜ふくちゃん」を、2021年には移住者と一緒にお宿「星の森」をオープンしました。

放棄園の復興や次世代の後継者育成などを目指して、6年前からポンカン栽培を開始。地域だけでなく、外の人との繋がりを大事にしたいと、ポンカン収穫やジュース作りなどの体験プログラムやワーキングホリデーの受け入れ、6次産業化やカフェ「ki-iro café」の運営にも力をいれています。雇用創出や農泊なども視野に入れ、今年1月に株式会社フクチャンFARMを設立。「地元の若者や県内外からの移住者が地域産業に携わり、独立してお金を稼ぐ仕組みを作っていきたい。自分が先頭を切って、その姿を見せていく」と力強く語ってくれました。

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

5 地区本部

お正月のフラワーアレンジ



山口さん④からアレンジを教わる部員

女性部は12月25日、あき支所で「女性大学ときめき学園」を開き、部員や地域住民27人が参加しました。高知市のアートプランツ「ジュジュミツコ」の山口京子さんを講師に招き、お正月飾りのフラワーアレンジメントとスワッグ作りに挑戦。松や梅、ナンテン、ピンポンマム、カスミノウなどの他、水引や寅の装飾も使って華やかにアレンジしました。部員らは「玄関やリビングに飾って、気持ちよく新年を迎えたい」と話しました。

3 東洋支所

サニーマートと意見交換



町内のポンカン園地を巡り、意見交換する参加者

果樹部は12月2日、東洋町でサニーマートとのポンカン交流会を開催。昨年の販売報告や今後の取り組みなどについて意見交換しました。同部会は、昨年と同スパーとの取引を開始。スパー関係者は「安芸地区産は味も良く、お客様からも好評。今年も昨年よりたくさん売って、「土佐よさこいポンカン」を県内に定着させたい」と今後の販売に前向きでした。生産者からも「店頭に立って、消費宣伝をさせてほしい」など要望が上がりました。

6 地区本部

交通安全教室用信号機を寄贈



高木署長⑤へ目録を贈る安岡常務

安芸地区とJA共済連高知は12月23日、安芸警察署へ交通安全教室用信号機一式を寄贈しました。同署で寄贈式典を開き、警察やJA関係者ら7人が参加しました。同署は、年間約40回の交通安全教室を開催。高木秀樹署長は「今まで他の警察署から信号機を借りて対応していたので、寄贈は有り難い」と感謝しました。安岡憲保常務は「地域の交通安全活動の一環として寄贈した。子どもたちの交通安全意識の向上に活かしてほしい」と話しました。

4 安田支所

安田事業所が完成



新事業所の完成を祝う役職員ら

安芸地区は12月16日、安田事業所の竣工式にまつわる神事を旧安田支所で行いました。完成した安田事業所は、鉄骨2階建て474平方メートルの事務所兼倉庫。旧安田支所の経済部門が入り、20日から営業を始めました。安岡憲保常務は「中芸地域の施設園芸を担っていく中心的な拠点。今後も地域農業の発展に繋げていきたい」と話しました。旧安田支所は1月から解体に着手。全ての工事が完成後、改めて落成式典を開く予定です。



親子連れなどで賑わったユズの手搾り体験

1 安芸ユズ加工場

ミツカンと共同企画「ゆずまつり」で県産ユズPR

高知県園芸品販売拡大協議会とミツカンは12月19日、高知市のひろめ市場で「ゆずまつり」を開きました。高知県ゆず振興対策協議会も協力し、安芸地区からも生産者3人が参加。冬至の日を目前に、生産量日本一を誇る県産ユズを観光客などへPRしました。黄ユズの他、ミツカンのぼん酢「まっことゆず」を販売。「なすのたたき」などぼん酢に合う料理に活用してもらおうとナスやミョウガ、シヨウガなど高知野菜も用意しました。ユズの手搾り体験も行い、ユズの芳醇な香りに誘われて、多くの親子連れなどで賑わいました。県外からの来場者は「ユズの手搾りは初めての体験だったので、楽しかった」と写真撮影などをしながら楽しんでいました。ひろめ市場内の飲食店も協力。24店舗で黄ユズを、8店舗で「まっことゆず」を使用した料理やドリンクを提供しました。生産者の千光士尚史さんは「ユズ玉はお風呂やお鍋などで、ぼん酢もいろんな料理で多くの人に使ってほしい。手搾り体験では、ユズに触れてもらう良い機会になった」と話しました。



田所支部長⑥からユズの収穫作業を教わる参加者

2 北川支所

労働力支援事業の試験運用 大学生らユズ収穫体験

JA高知県が大手旅行会社JTBと連携して取り組む「農業労働力支援事業」が動きだしました。試験運用として12月4日と5日、北川村で農作業を実施。来年度以降の本格開始へ繋げていきたいとしています。JA全農とJTBが令和3年4月に「農業労働力支援事業にかかる連携協定」を締結したことを受け、JA高知県も6月から、連携協定について協議を開始。今回は安芸地区が協力し、作業が比較的単純で短期間にまとまった人員確保が必要なユズの収穫で試験運用を試みました。JAが生産者からの農作業依頼を取りまとめ、JTBが農業を請負う仕組み。両日は、大学生など計6人が参加。柚子部北川支部の田所正弥支部長から指導を受けながら、収穫作業に取り組みました。参加した大学生は、「農業系の仕事に興味があり応募した。良い経験になれば」と思っていたが楽しかった」と作業に励みました。JA農業所得増大対策室の宗本直也さんは「今後もパートナー連携を深め、双方の助け合いができる取り組みを継続していきたい」と話しました。

えいのう



栽培管理

ナス

3月中旬からはじまる収穫の最盛期に向けて、2月～3月上旬の管理をしつかり行いましょう。

【灌水・追肥】

2月は1月に次いで気温の低い時期ですが、日照時間や日射量は徐々に増え始め、花・果実の数も増えて行く時期です。日射量が増えてくると、畝が乾きやすくボケ果の発生が多くなるため、灌水は1～2日ごとを目安とし、灌水回数や灌水量を日射量に応じて徐々に増やしましょう（ハウス野菜栽培管理こよみ資料14参照）。追肥は灌水のたびに液肥で行い、1ヶ月当たりの施用量は10アール当たりチツソ成分で5～7kgを目安とします。

【整枝・摘葉・光環境】

二重内張りを開けるとともに、ふところ部の混み合ったところは摘葉し採光性をよくします。また、側枝は一芽切り戻しを徹底しましょう。

【病虫害防除】

春先に向けて、ハウス内が長時



安芸管農経済センター 管農指導課 中芸ブロック 下司 貴史

間にわたり湿度が高くなりやすいため、黒枯病・すずかび病・灰色かび病などの発生が拡大する可能性があります。農薬の予防散布を行い、発病した果実・茎・葉はハウスから持ち出してハウス内の菌密度を低くしましょう。

湿度制御を心がけ、ハウス内の相対湿度95%以上となる時間を、12時間以上継続させないことが重要です。

【温度管理】

ハウスの出入口や換気窓などのすきま風に注意し、無加温ハウスでは保温対策に努めます。夜温の管理はハウスこよみの「12月の栽培管理」を参照し、加温時には加温機が夜間に動くように温度設定し、日の出2時間前から早朝加温を行います。

【単花処理】

ハチの飛びが悪い時や最低夜温が12℃を下回る場合は、単花処理を行います。

【凍傷防止】

収穫後の果実は、7℃以下の低温に遭遇させないように、保管には十分注意しましょう。

整枝・剪定

カンキツ

間伐・縮伐や整枝・剪定による環境改善を行い、果実品質の向上を図りましょう。

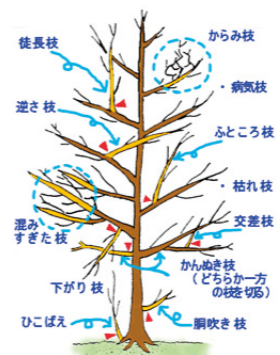
【密植園地の間伐・縮伐】

密植園地の問題点としては、樹全体の日が当たらず①立ち枝が多くなり着花が悪くなる、②病害虫の発生が多くなる、③品質が悪く、着色も遅れる、④収穫作業効率が悪いためなど挙げられます。密植園地では独立した樹冠になるように間伐や縮伐を行い、老朽化した園地では改植により園地の若返りを行います。

【整枝・剪定作業】

整枝・剪定は、良好な新梢と花をバランス良く発生させ、毎年安定して高品質果を生産できる樹づくりが主な目的ですが、①果実品質の向上と隔年結果の是正、②黒点病の発生の効率化、④日当たりや風通しの改善、⑤薬剤散布のかけむらの軽減などのような役割もあります。

カンキツの剪定期は、寒さがやゆるんできた2月下旬以降に行うのが良く、開花期までは行えません。整枝・剪定の基本としては樹木の



剪定の基本



安芸管農経済センター 管農指導課 山影 学

状態をよく観察し、全体的なイメージをつくりあげます。主枝を2～3本決め、主枝から亜主枝、側枝を作り、空間を立体的に利用します。主枝はできるだけ内側に置き、第1亜主枝にはたくさんの側枝、緑枝を作りたいので、あまり角度はつげずに水平に近く作ります。摘果や収穫作業等の省力化を図るために樹高低減を行う場合は、着花が多い年に行い、減収の程度を抑えましょう。

WCS用稲への取り組み

振興センターだより

安芸農業振興センター 08871340138

●はじめに

近年人口減少などによるお米の需要が減少するなか、新型コナウイルス感染症の影響を受け、需要の減少に拍車がかかりました。

このままでは米価が大きく下落し、収入が減少する恐れがあるため、主食用米から栽培品目の転換を促し、お米の生産量を減少させる政策がとられています。

具体的には、主食用米から転作しやすい品目である飼料用米や米粉用米、加工用米、WCS用稲などを作付けする販売農家や集落営農組織へ、直接交付金が支払われる支援体制があります。

特に、飼料用米は、栽培方法が主食用米とほとんど変わらず、助成金額も比較的大きいことから、最も導入が検討されてきました。しかし、収量に応じて助成金が増減するしくみになっており、高収量の場合は高い助成金が得られますが、低収量ときには収支がマイナスになってしまうなど、技術的なハードルが高くなっています。

そのような中、WCS用稲は栽培が比較的容易で、助成金額も高いことから、導入を検討する経営体が多くなっています。

●WCS用稲とは

WCS用稲（発酵粗飼料用稲）は、水稲の地上部全体（茎葉と穂）を株元から刈り取り、混合してロール状にした後、フィルムで包み込んで（ラッピング）、嫌気状態で発酵させたものです。

これらは乳牛や肉用牛の飼料として使用されますが、畜産農家にとって、輸入飼料価格が高騰する中、比較的安心な国産飼料となるために引き合いが大きくなっています。

水田としての機能を維持したまま転作できる品目は貴重で、水稲栽培のための機械・施設がそのまま使用できるのは大きなメリットです。収穫後の作業が主食用米より簡易で（乾燥、粉すりなどが少ないこと）、直播栽培などのより簡易な栽培法の検討も可能です。

また、水田で生産したWCS用稲を飼料として牛に給与し、その牛の排せつ物から生産した牛ふん堆肥を水田に還元することで、環境に優しい資源循環型農業が構築されます。

そして、これまで畜産農家が輸入飼料を購入することで地域外に流出していた購入費用が地域内に留まるようになり、地域内経済への貢献になります。

●管内における取り組みと問題点

これまで述べてきたような状況のもと、管内のWCS用稲の栽培面積は増加傾向にあります。WCS用稲は、畜産農家の需要に応じて作付け計画を検討する必要がありますが、まだ畜産農家の需要量に地域内での供給は追いついていないため、作付け面積にはまだ余裕があります。

このように、管内では少しずつWCS用稲の生産は増加していますが、問題点もあります。

WCS用稲生産用の施設・機械は主食用米用とほとんど同じですが、収穫

に関しては専用の収穫機が必要になります。

しかし管内には十分な収穫機が配備されておらず、収穫、ラッピングに関しては、ほとんどが地区外の組織への作業委託に頼っています。収穫作業は地区外から搬入される機械によって集中的に行われるため、収穫時期については十分な計画性が求められ、品種は中生に限られています。

管内は自家育苗が少ないためか、専用品種の導入が少なく、主食用米品種の作付けが多い状況です。専用品種の収量は主食用米品種をはるかに凌駕しますので、専用品種の導入は今後の検討材料です。

管内のWCS用稲の安定生産にはまだ十分なしくみが出来ていませんが、少しずつ構築して農村環境の存続に寄与していきます。



川北 恭吾

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

特集の山北みかん、努力している様子がよく分かる文章でした。みかんをもっと食べたくまりました。

(赤野出張所・72歳)

▼産地での取り組みや思いを知ると、より一層商品への思いが高まりますよね。みかんの季節に、また読み返していただくと嬉しいです。

江洲友環ちゃんの写真が、小学生だった頃の辰哉さんにそっくりでビックリ！友環ちゃんの祖母にいただいて飲んだ、搾りたての美味しい牛乳が懐かしいです。

(安田支所・64歳)

▼友環ちゃんも毎日美味しい牛乳を飲んで、すくすく成長しているそうです。牛乳飲み放題なのかな？羨ましいですね！

のいちご飯の味付けが、自分では思いつかない組み合わせなので、早速作ろうと思っています。甘辛く、スパイシーな感じかなと今から味を想像してワクワクしています。

(室戸支所・84歳)

▼のいちご飯、今回初めて知りました！サツマイモとじゃこの組み合わせも斬新。ぜひ、作って味わってみたいです。

広報のつぶやき

現在、南国市のグドラックにて「高知なすフェア」を開催中！三山ひろしさんが選んだ、「高知なす」料理を食べることが出来ます。グドラックは昨年、50数年ぶりに大きくリニューアル。飲食店の閉店などもある中、子どもの頃から親しんだお店の元気な姿に嬉しくなります。みなさんも生まれ変わったグドラックで、「高知なす」料理を堪能してくださいね！

(竹村)

店舗営業内容変更等についてのお知らせ

JA高知県では新3か年計画（令和3年度～令和5年度）に沿って、店舗の再編等に取り組んでいます。利用者皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、以下のとおり営業を終了、または営業内容を変更しますのでお知らせいたします。

ギフトクラブ21	令和4年1月28日（金）をもって店舗を閉鎖し、2月1日から安芸営農経済センター購買課で営業。
中山Aコープ	令和4年3月30日（水）17：00をもって営業終了。
北川Aコープ	令和4年3月30日（水）17：00をもって営業終了。
羽根Aコープ	令和4年3月30日（水）17：00をもって営業終了。
芸西車輛センター	令和4年3月31日（木）をもって営業終了。現在車輛センターに勤めている職員が独立、引き継いで営業。営業開始日は令和4年5月2日（月）。4月1日～5月1日の休業期間中のお問い合わせは、あき車輛センター（TEL0887-34-8323）までお願いいたします。
穴内出張所 赤野出張所 わじき出張所	令和4年3月11日（金）に現在の営業内容を終了し、令和4年3月14日（月）から、店舗形態を「よりそいプラザ（※1）」に変更して営業。 穴内・赤野出張所の購買店舗については「穴内事業所」「赤野事業所」として、これまで通り営業を継続。 ＜よりそいプラザの営業日・営業時間＞ 窓口：平日9：00～11：30、12：30～14：30、土曜日・日曜日・祝日は定休日 ATM：平日8：45～17：00、土曜日9：00～17：00（※2）、日曜日・祝日は休止 ＜購買店舗の営業日・営業時間＞ 購買店舗：平日・土曜日・祝日8：30～17：00、日曜日は定休日 ※1 よりそいプラザ：ATMの機能による取引を基本とし、窓口の信用共済担当職員2名による簡易な相談業務と書類等の取次業務を行う。 ※2 わじき出張所は土曜日も休止です。稼働は平日のみとなります。

税務相談日 令和4年3月17日（木）

会場 あき支所3階

時間 10：00～16：00

問い合わせ 安芸地区本部 企画組合員課 0887-34-1515